

会議録

会議の名称	第5回西東京市交通安全対策会議
開催日時	平成19年3月28日 13時 30分から 14時 10分 まで
開催場所	西東京市役所 イングビル 第3会議室（3階）
出席者	<p>【会長】坂口市長 【委員】石川委員、清水委員、田代委員、村山委員、中嶋委員、高根委員、矢嶋委員（代理 西東京消防署佐藤副署長）、富川委員（代理 西武バス株式会社 山内管理部長）、堀切委員（代理 関東バス株式会社 梶原運輸部部長補佐）、（欠席 岩下委員、浅倉委員、福田委員、尾崎委員、村野委員）</p> <p>【西東京市】大平交通計画課長、川合主査、田中主査、</p>
議題	<p>パブリックコメントの市民等からの意見について 交通安全計画の策定について その他</p>
会議資料の名称	資料 パブリックコメントの市民等からの意見と市の考え方 交通安全計画（案）
記録方法	全文記録 ■ 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名：発言内容</p> <p>事務局：開会の挨拶、会議資料等の確認</p> <p>会長：昨年の10月からこの計画の策定に入って頂き、皆様方には多忙なところ熱心にこの審議に参加していただき、お礼を申し上げます。</p> <p>事務局から話があったように、交通安全対策会議は本日で最終となる。担当委員から詳細な説明のもと、各委員から色々な論議や意見を頂き、交通安全計画（案）を作成することが出来た。お気付きの点がある場合は具体的に示して頂きたく、また発言を頂きたい。議題に入りたいと思うが交通安全計画（素案）に対する市民の皆様からの意見について集約ができていますので事務局の方から説明を求める。</p> <p>事務局：市民等からの意見について説明いたしたい。資料「市民等からの意見（案）」について。西東京市交通安全計画（素案）に対する市民等からの意見につ</p>	

いては、2月16日から3月2日までパブリックコメント、いわゆる市民意見提出手続きを実施し、資料のとおり6名の方から意見があった。内容は、交通安全計画に関するものとして、パブリックコメントに関するものが2件、公共交通に関するものが1件、交通安全に関するものが14件、道路整備に関するものが5件、都市計画道路に関するものが5件となっている。手元の資料で主なものについてご説明をする。意見として「歩道の整備をしてください」と言った事が2件。これについて歩行者及び自転車利用者を自動車交通から分離し、道路交通の安全と円滑化を図るため、歩道未整備区間や歩道幅員の狭い区間について整備を進めていきます。というような回答を用意した。また6番目は、「夜間の道路通行の安全確保を検討してください」という質問については、交通安全計画の中で夜間の交通事故を防止するため、道路形態から危険度の高い交差点、横断歩道等に道路照明を整備します。また歩行者の交通安全を図るため、薄暮時や夜間に反射材の活用、外出時の目立つ色の服装の着用について、広報啓発活動を行っていきます。というような回答を用意した。また「交通ルールを守らない車や自転車の利用者の違反に対して取り締まりをしてください」といった事が7件あった。これについては、駅等の違法駐車や自転車、車の運転中の携帯電話使用や夜間の自転車無灯火走行は、当事者だけでなく、他人を巻き込んだ大きな事故になる恐れもあります。交通ルールの遵守のため、警察等の関係機関に指導等の強化を要請していきます。また、民間等の駐車場の案内や春、秋の全国交通安全運動等の交通安全キャンペーンを実施し、交通安全意識の啓発活動を行っていきます。というような回答を用意した。次のページの「人が信号無視や横断歩道以外で横断し、危険である。」といった意見が2件あった。これについては、交通安全の基本は、市民一人ひとりが交通ルールの遵守と正しい交通マナーを身に付け、交通事故防止のため実践することです。家庭、学校、職域や地域社会における交通安全意識の高揚を図るとともに、広報啓発活動の充実・強化に努めます。という回答を用意した。事務局からは以上である。

会長：事務局から市民の皆様から寄せられた意見とそれに対する市の考え方についての説明があった。全部で17項目に集計して市の考え方を整理させて頂いている。

事務局：これについては、ホームページを通じて紹介と回答だけを掲載したい。

会長：ホームページ以外で寄せられた手紙などそういったものは無いのか。

事務局：郵送につきましては1件、ファックスが1件、電子メールが4件の計6件。表にまとめてある。

会長：ホームページを見られる方とそうでない方とがいるので、その辺の配慮をお願いしたい。

会長：それでは、事務局から説明があったが、内容等について何かご質問、ご意見などあるか。

事務局：頂いた意見については、個人宛には回答するものではなく、市報とホーム

ページ等で公開する。

会長：事務局からの補足の説明は以上であるが何かあるか。安全、安心というものは何事にも代えがたい大切な命に関わることなので市民、または都民の関心が高い。都民の都政に対する近年の意識調査では、安全安心に対する要望が60%近く、防災防犯など含めて1位と一番多く占められる。西東京市もその東京都の一端ではほぼ同じである。先般、小学校新1年生に対する交通安全教室を開催して頂いたが、雨で参加者は若干少なかったが関心が高い状況であった。西東京市は、交通の割合便の良い所に位置しているの、合併して7年目で当初18万だった人口が19万2千と増えている。市として計画行政の中で可能な限りの努力をしているがなかなか追いつかないというのが実態である。色々な制約条件があるが可能な限り市民の皆様方の、安全対策を講じていきたい。ハードの面だけでなくルール、マナー、または安全協会との協力も含めて田無警察署の皆様のご尽力が大切である。そのための計画と考えて頂ければと思う。

なければ、交通安全計画の策定について事務局から説明を求める。

事務局：交通安全計画の策定についてご説明いたしたい。この案については第1回から第4回対策会議で討議等頂いたものを最終的に修正調整して交通安全計画案としてまとめてある。また附属資料の名簿については、本日公務で欠席であるが中岡田無警察署長の異動に伴って新たに岩下署長が委員になられたことを記載した。以上。

会長：この交通安全計画の策定について何か意見等はあるか。

清水委員：新警察署長と交通安全について協力して進めたい。

会長：先般の安全教室も雨の中だったが、お子さん方、それから保護者の方が多く参加し、また、交通擁護員のシルバー人材センターさんの皆さんも多数参加して初顔合わせをした。教育機関の関係で校長先生にも参加頂いたが、中嶋委員のほうから何かあるか。

中嶋委員：学校の環境を考えると大きな道路ができて学区域の再編があるのではない。また、ひばりヶ丘駅周辺に大きなマンションができ、人口も相当増えて、人の流れが変わってくるのかなと、全体を見させて頂いた感想はあるが直接安全計画に関わることはない。

会長：意見拝聴した。今日は北南建所長の石川所長さんがお見えであるが中嶋委員の学区域のところであると、調布保谷線について、用地買収が行われており、役所の前から北町の方に向けて幅員36mの道路、真ん中の16mが車道、環境施設帯が10mと今まであまりなかった道路が出来る。それに伴って学区域と通学路の安全確保の問題が出てくる。学校関係で境界線の関係でこれから少し調整させて頂きたいところは、東伏見小学校、稲荷神社の所である。それから中学校は保谷中学校。一部体育館がかり、それを移設してということになるが、大変幅広い道路が出来る。

それから保谷第一小学校、これもやはり、出来るだけきめ細やかに色々な説明会をやって頂きたい。できれば、東京都の方でかつて環境施設帯設置に関わる協議会、市民マターで施設帯の問題をやっていこうということで実は東京都はかなり力を入れてやっていた経緯がある。一方では訴訟など起こした事例があり正常な形で協議会が持たなくなって、それを何とか再構築して頂き、市民の意見や街づくりに対して市に対する要望等出せるような場をつくることで話をさせて頂いている。もう1つ泉小学校の住吉の辺は、用途地域が住居地域となっており、あまり高層の建物が建てられないことになっているのであるが、ご指摘があったひばりヶ丘駅の南口とか、また今度は向台の方の工場跡地等に中高層の建物が出来ると地区計画を出し、それらも含めて、また安全対策などいろいろ考えなければならないことも多々出てくるのではないかと。または学校の関係で教室の問題とか学童クラブ、その前に保育所の問題などに対応しながら安全対策を講じて行きたい。なければ、次の議題に入りたい。その他について事務局から何かあるか。

事務局：交通安全計画はこれで最終案とし、最終チェックをさせて頂きたい。今後のスケジュールは、市長に報告し、一定の手続きを経て、新年度交通安全計画を公開していく予定である。公開にあたり市のホームページ情報公開コーナー等で公開したいと考えている。

会長：これで5回目を終了とする。委員の皆様には、公私ともご多忙のところ本計画の策定にご尽力いただき、心から感謝する。道路のネットワーク等が変わってくると、公共交通機関の事業者の皆様にも協力いただくことが多々出てくるのではないかと。特に調布保谷線などが出来ると、道路形態等が変わってくる。出来るだけ公共交通機関に協力頂き、車の集中、渋滞などそういったものがない基礎体形にして頂けるとありがたい。それからまた環境対策などについてもお願いしたい。新しく出来る道路は東京都のご尽力もあり、ほとんどが無電柱化であり、バリアフリー対策は万全である。そんな道路が出来るのでバスベイの問題も後で作るとなると大変であるし、屋根などの問題も事後的に付けるとなると大変なことになる。西東京から調布まで素晴らしい道路になるので是非また、今日は安全対策の会議であるが知恵とお力をお借りしたいと考えている。また老人クラブの皆様方には、子供達が通学したり、または遊びに行ったり家に帰ったりすることに対して、地域の皆様と共に見回り等して頂いていることと思うが、今後とも引き続きよろしくお願ひしたい。また高齢者の交通事故も多くなっているの、事故に遭わないよう、くれぐれも老人クラブの中でも皆さんで声を掛け合ったり啓発をしあったりしてご努力頂きたい。我々にとっては大変便利な自転車であるが、放置の問題とかまたは左側通行しなければならぬのに右側通行したり、歩道を大変なスピードで走るとか、無灯火で走るなど事故の問題とつながってくるので、出来るだけマナーをアップするような努力をして行かないといけないと考えている。市としても歩車道の分離を図るなど、東京都にも指導いただき、またはソフトの面でのマナーの啓発など今後とも努力をして行きたい。それでは、皆様方からの意見等を今後はどう生かしていくかということが市政に問われてくる。また市民の皆様方とも体制を作っていく必要があると考えている。皆様方の今までのご参加、ご協力に対して心から感謝申し上げます、引き続き市民の皆様方の安全確保のために協力頂くことを申し上げます

めくくりの挨拶とさせて頂きたい。